

すべての伊丹市民の皆さんへ

伊丹市教育委員会

いじめ緊急アピール

- かけがえのない命を大切に -

いじめにより、子どもたちが、自らのかけがえのない命を絶つという、痛ましい事件が相次ぎ、社会に大きな衝撃を与えています。

私たち伊丹市教育委員会は、この度の一連の事件を重く受け止め、この問題に全力で取り組みます。

1 子どもたちへ

「友だち同士で助け合って、毎日、学校生活を楽しく過ごしていますか」

人のいやがること、自分にされていやなことは、人にもしてはいけません。

人を絶対にいじめてはいけません。いじめを見過ごしてもいけません。いじめは人として、もっとも卑怯で恥ずべき行為です。いじめられている仲間の気持ちをわかってください。いじめられている仲間がいたら助けてあげてください。

命は一人に一つだけ与えられた、かけがえのないものです。

人間が生きていく中で、時には、つらいことや、悲しいことがあると思います。でも、周りを見渡してください。

家族、先生、友だち・あなたの周りには、いじめに打ち勝ってきた人がたくさんいます。そして、あなたのことを気遣ってくれる人が必ずいるはずです。一人で悩まないで、自分の苦しさを、あなたの周りにいる人に、相談してみてください。生きる勇気がきっとわいてきます。生きていてよかったと思える日が必ずやってきます。

悩みを打ち明けることは、決して恥ずかしいことではありません。あなたが悪いわけではありません。あなたを必要としている人のためにも、たった一つの命を、大切にしてください。

2 先生方へ

「子どもたちは、学校で、毎日、明るく元気に過ごしていますか」

もう一度、自分の学校・学級を、そして、子どもたちを見つめてください。

「元気がない子」「学校に来るのをいやがる子」はいませんか。一人ひとりの子どもたちを見つめ、声をかけてください。

いじめには、それを生む風土があると思います。「人として許されないこと」を、「思いやりの大切さ」「命の大切さ」を、子どもたちの心に響かせてください。そして、いじめられている子どもがいたら守りぬいてください。

3 保護者の皆さんへ

「子どもさんに変わった様子はありますか」

「おはよう」「いってらっしゃい」明るい会話をご家庭の中にありますか。

保護者にとって、子どもは目の中に入れても痛くない存在だと思えます。そのメッセージを、子どもたちにまっすぐ伝えてください。家族のふれあいを大切にしてください。

もし、お子さんに気になる様子があれば、どうか遠慮せずに、相談してください。

そして、これだけはしっかり教えておいてください。いじめが絶対にいけないことを。

4 子どもたちを支えるすべての皆さんへ

「皆さんの周りの子どもたちは、健やかに育っていますか」

人をいじめている子どもがいたら、注意をしてください。いじめられている子どもがいたら、助けてあげてください。どうか、地域で子どもたちに声をかけてください。ことばの通う温かいまちが、思いやりのある温かい心を育むと思えます。

5 私たち、伊丹市民皆で、いじめのない社会を作りましょう。